

第五十六回
帝國議會
貴族院

國寶保存法案特別委員會議事速記録第二號

昭和四年三月十一日(月曜日)午後一時十
四分開會

○委員長(侯爵細川護立君) 是ヨリ委員會
ヲ開キマス

○竹越與三郎君 私ハ初メテ出マシタノデ
誠ニ相濟ミマセヌガ、皆サンガ段々御聽キ
ニナツタコトカモ知レマセヌケレドモ、チ
ヨット御聽キヲ致シタイノデス、是ハ委員ガ
見テ良イ物ト定メタ物ヲ國寶トセラレルノ

デアリマセウガ、併シ國ガ國寶トスルト云
フコトハ、其物ガ良イバカリデナク、稀ニ
有ル、即チ稀有ト云フコトト、二ツデナケ
レバ國寶ニハナラナイ、其點カラ行クト明治

年間ニ隨分良イ作品モアリ、殊ニ陶器ナド
ニ付テハ前代ヨリモ優タ物ガアルドラウ
ト思フノデスガ、之ヲ一々認定シテ國寶トス

ルト云フコトニナルト際限ハナカラウト思
フ、歴史カラ云テモ西洋アタリデ五十年後
ノ歴史デナケレバ、本當ノ歴史ハ書ケヌト

云フノハ、縱シ判斷スル根據ガアツテモ、ソ
レニハ是非ノ論ガ殘テ居ルト云フコトデ、

傳記ニシテモ歴史ニシテモ、少クトモ五十年
經タナケレバ本當ノモノハ書ケナイト云フ

コトニナル、併シ「コンテンポラリーヒス
トリイ」ト云フモノハナイコトハナイガ、

是ハ餘リ認メラレナイ、此美術上ノ作品ニ
付テモ誰ガ見テモ良イト思フモノハ、マダ

現代ノモノハ其處ニ是非ノ論ガ殘ル餘格ガ
アル、是ハ少クトモ或ル時代ヲ劃シテ、ソ

レ以前トカ何トカ云フコトヲ決メナケレバ
如何カト思フノデアリマスガ、政府ノ御所
見ハ如何デゴザイマスカ

○男爵藤村義朗君 チヨット其御答ノ前ニ、
ソレニ關聯シタコトデゴザイマスガ、此國

寶ト云フ字ガアルノデスガ、國寶ト云フモ
ノノ標準ガ私ニハ分ラナイ、國ノ寶ト云ヘ

バ竹越君ノ言ハレル稀有ト云フコトモ無論
這入ルドラウト思フ、ドウ云フ所ニ此國寶

ト云フモノノ標準ヲ御置キニナルカ、ソレ
ヲ序ニ併セテ伺フテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(山崎達之輔君) 國寶ノ標準ト
申シマスルカ、範圍ト申シマスルカ、國家

ガ物件ヲ指定イタシマシテ、相當所有權ノ
制限ヲ致ス譯デアリマスカラ、之ヲ選定イ

タシマスル標準ハ固ヨリ十分嚴重ナ方針ヲ
執ラナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリ

マシテ、御話ノ通りニ大體ニ於キマシテハ、
年代ノ古イ方ガ主ト相成テ居ルノデアリ

マス、建物其他ノ繪畫、美術品其他ニ付キ
マシテモ、マダ明治時代ノモノヲ國寶ニ指

定ヲ致シテ居ルモノハナイヤウナ次第デア
リマシテ、是等ノ年代其他ニ付キマシテハ

専門家カラ更ニ補足ヲ致スコトニ致シマス
ガ、詰リ國家ノ手ニ依ッテ保護……保存ヲシ

テ行カナケレバナラヌト云フ趣意カラ出ル
ノデアリマスカラ、唯良イモノト云フヤウ

ナ單純ナ範圍デハ考ヘテ居リマセヌノデア
リマス、法律ノ力ニ依リ、政府ノ力ニ依ッ

テ、是ガ保存ヲ圖ラナケレバナラヌト、其
爲ニ財產權ニ相當ノ制限ヲ加ヘルコトモ已

ムヲ得ナイト云フヤウナ意味カラヤッテ居
リマスルカラ十分嚴選ヲ致シテ居ルノデア

リマス、從ッテ藤村男爵ノ御質問ニ對スル御
答モ、之ニ依ッテ盡キテ居ルカト思フノデ

アリマスガ、尙ホ具體的ノコトハ専門家ノ
方カラ補足ヲ致シマシテ御説明ヲ申上ゲル

コトニ致シマス
○竹越與三郎君 明治ノモノハ今マデハ認

メテ居ラヌト云フヤウナ御話デアリマス
ガ、併シ或時代ヲ極メテ置カヌト、サウ云

フコトハナイト云フコトヲ此處デ云ハレタ
所ガ、當ニナラヌ話デ、御配布ニナリマシ

タ伊太利ノ國寶指定ノ法律ナド、參考ニ御
配布ニナリマシタ、アレナドモ五十年ト極

メテ居ル、亞米利加ノ如キハ國ガ新シイカ
ラ國寶ハナイガ、併シ國寶ヲ外國カラ買フ

コトヲ許ス爲ニ一百年前ノモノハ無稅デ入
レル、ソレマデハ外國デ買テモ非常ニ稅ガ

掛カルノデ、英吉利ニ於テ時ニ所有者ガ見
ニ行クト云フコトガアル、ソレデハナラヌ

ト云フノデ、國寶ヲ招キ寄セル爲ニ百年前
ノモノハ無稅デ輸入ヲ許ス上云フコトニナ

テ居リマス、大抵或ハ時代ヲ劃スル方ガ便
宜ダラウト私ハ思フノデアリマス、是ハ餘

談デアリマスガ、此二三日前ノ新聞ニ例ノ
「カテキ」尊者ガ又喧シク書イテアル、私實

物ヲ見テ居ナイカラ自分ノ意見ハ云ヘナイ
ガ、「カテキ」様、「カテキ」尊者ト云フ形ガ

或ル船ニ刻ンデアル、或ル學者ガ是ハ和蘭
ノ植物學者ノ「エラスムス」ノ顔デアルト、

和蘭政府カラソレヲ貰ヒタイト言ッテ來タ、
是ハドウシテモ國寶デアルカラヤレナイ

ト、中々騒イデ居ル、然ルニ此「カテキ」ト
云フノハ、支那デハ「黃帝ノ臣ニ柯狄アリ

船ヲ掌ル」、「カテキ」ノ「カ」ハ本篇ニ「ベ
ク」、「テキ」ハ夷狄ノ狄、サウ云フヤウナ

譯デ支那デハ柯狄ハ海ノ神様ト古來極メテ
アル、ソレヲ「カテキ」尊者ト言ヘバ、私ハ

之ヲ見ナイカラ何トモ言ヘヌガ、海ノ神ヲ
理想ニ彫ッタモノト思ッテ居ル、然ルニソレ

第四部第十五類 國寶保存法案特別委員會議事速記録第二號 昭和四年三月十一日

ハ國寶デナケレバナラヌト云フヤウナ、運動ヲシテ居ル、運動ガ段々喧シクナッテ、殆ド國寶的ノモノダトシテアル、斯ウ云フ風ニ多數運動ノ世ノ中デアルカラ、是ハ國寶ニナラヌトモ限ラヌガ、是ハドチラデモ宜イトシテ、運動ノ世ノ中デカラ、ドウモ現代ノモノヲ選定スル餘地ガアッテハ、ソコニ不自由ガアリハセヌカト思フ、無論現今ノ名家、陶器ニシテモ、繪畫ニシテモ、古人ヲ凌駕スルモノハ澤山アルト思フ、今人必ズシモ古人ニ如カズデハナク、今人ノ方カ古人ヨリモ總テノ點ニ於テ偉イト思フ、作品ノ良イコトハ疑ハヌガ、併シ之ヲ國寶ニスルト云フコトハソコニ中ニ議論ノ餘地ガアルガ、之ハドウモ出來ナイヤウニ制限シテ置ク方ガ便宜デハナイカト思フ、重ネテ實務ニ當テ居ラレルオ方ノ御説明ヲ願ヒマス

○説明員(萩野仲三郎君) 年代ノ點ニ付キマシテハ只今實際指定シタ年代ハ、繪畫ノ方ニ於テ應舉マデ、應舉、大雅堂アタリガ先ヅ一番新シイトコロニナッテ居リマスガ、申合セタトコロニ依リマス、五十年前ニ歿シタ藝術家ノ作品ハ指定ノ範圍ニ入レテ宜カラウト云フコトニ大體話合ヲシテ居リマス、マダ事實指定ハシテ居リマセヌ、生存シテ居ル人ハ何人デアッテモ是ハシナイト、歿シテ後五十年經タナラバ指定ヲシテ

モ宜カラウト云フコトヲ、此法案ヲ議シマスル時分ニサウ云フ話合ヲ致シマシタ、大體其邊ニ標準ヲ置イテ宜イノデヤナイカト、斯ウ心得テ居リマス、ソレカラ序デゴザイマスカラ「カテキ」尊者ノコトモ申シ上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、アレハ明ニ「エラスムス」ノ像デゴザイマス、アチラノ「エラスムス」ノ像ヲ描イタノトソククリ一致シテ居リマス、サウシテ御承知ノ「エラスムス」ハ神學者デアリマシテ、非常ニ和蘭デハ尊重ヲシテ居リマシテ、ソレガ和蘭ノ貿易船ニ附イテ居リマシタノデ、ドウ云フ經歷ニ依テアレガ牧野家ニ這入り、又之ガ龍光院ニ寄附セラレタト云フコトニ付イテハ明瞭ヲ缺イテ居リマス、日蘭貿易ノ歴史ノ上ニ於テ、又アノ「木作り」彫刻トシテモ、優ニ國寶ニ指定スベキモノデアリマス、所有權其他ノ點ニ於テ、國寶ニ指定スルコトガ大分ニ延ビテ居リマスケレドモ、若シ之ガ所有權ガ確立スレバ當然國寶ニ致シテ宜イ品物デ、彫刻ノ上カラ申シテモ、日蘭貿易ノ歷史上カラ徵シテモ、國寶ニスベキモノト私共ハ存ジテ居リマス、序デナガラ辯ジテ置キマス

○竹越與三郎君 サウスルト「カテキ」ト云フ名前ハ何處カラ出テ來タノデスカ

○説明員(萩野仲三郎君) 何デ「カテキ」ト附ケマシタカ、船ニ附イテ居タト云フトコ

ロカラ附ケタラウト思ヒマス、牧野家ノ傳説ハ誠ニ妙ナ傳説ガ附イテ居リマシテ……

○竹越與三郎君 牧野家ト云フト……

○説明員(萩野仲三郎君) 牧野ト云フノハ徳川ノ幕下デアッタノデアリマス、三河ノ國ニ居リマシタ、其家ニズット傳ハッテ居ル、其家デハ朝鮮征伐ノ時ニ持ッテ來タト、斯ウ云フコトニナッテ居リマスケレドモ、是ハ信ゼラレマセヌ、サウシテ今御説明ノ通りニ「カテキ」ハ支那デハ船ノ神デゴザイマスケレドモ、ドウシテモ像ノ上カラ調べテ見マスト「エラスムス」ノ像デゴザイマス、其事ハ大分明ニナッテ居リマス

○根津嘉一郎君 チョット御尋シマスガ、罰則ノ所ヲ見マスト第二十條、二十一條ハ隨分、體刑ノ懲役五年トカ、或ハ二年トカト云フコトニナッテ居リマスガ、之ニ反シテ二十二條ヲ見マスト「國寶ノ現狀ヲ變更シタルトキハ五百圓以下ノ罰金」、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ二十四條ニ至テハ「怠慢ニ因リ其ノ管理スル國寶ヲ滅失又ハ毀損スルニ至ラシメタルトキハ五百圓以下ノ過料」ナッテ居ル、茲ニ大變ナ輕重ガアルト思ヒマスノハ、二十二條ノ「國寶ノ現狀ヲ變更シタルトキハ」ト云フコトハ、是ハ我々ハ、餘程重イモノダラウト思ヒマス、是ハ故意ガアッテ、國寶ノ現狀ヲ變更シ

マスレバ國寶ノ資格ヲ失ッテシマフ、國寶ノ資格ヲ失ヒマス、或ハ之ヲ當リ前ノ品物ニ變更シテ、賣却スルコトモ出來ルトカ、或ハ譲リ渡シモ出來ルダラウト思ヒマスガ、此二十條、二十一條ニ比較シマス、二十二條ハ著シク輕キニ失シヤシナイカ、或ハ又二十條、二十一條ガ重キニ失スルカ、是ハ何レカ分リマセヌガ、兎ニ角此二十條、二十一條ガ斯ウ云フ規定デアル以上ハ二十二條ハ最モ私ハ輕キニ失シテハ居ナイカ、從テ二十四條モ何レモ輕キニ失シテハ居ナイカ、斯ウ思フノデアリマスガ、斯ノ如キ輕重ノ甚シキニ御ヤリニナッテ御意思ハドウ云フ所ニアルカ、之ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○政府委員(山崎達之輔君) 第二十條、二十一條ハ如何ニモ刑ノ量定ガ高クナッテ居リマスルガ、是ハ一般刑法トノ權衡モ取ッテ刑ノ最高限ヲ斯様ニ決メテ居ルノデアリマス、ソレカラ二十二條二十四條ハ、二十二條ノ許可ヲ受ケズシテ現狀ヲ變更ト云フコトハ、詰リ第二十一條ノヤウナ國寶ヲ損壞シ或ハ毀棄シテ國寶タルノ價值ヲ滅却セシメルト云フヤウナモノトハ餘程性質ガ違ッテ參リマス、謂ハバ手續ノ違反ト云フヤウナコトデアリマスルカラ、是ハ過料ト云フコトニ致シテアルノデアリマス、現刑法モ大體之ト同ジコトニ相成ッテ居リマス、ソレカラ第二十四條ハ、是ハ純然タル過失デ

アリマシテ、何等故意其他ノコトデナイ譯デアリマスカラ、過料ト云フコトニナリマシテ、五百圓以下ト云フコトニ是モ現行ト同ジカト思フテ居リマス、詰リ一方ハ故意デアリ、一方ハ手續ノ違反或ハ純然タル過失デアルト云フ所ニ刑ノ量定ノ差ガ當然起テ參ル譯デアリマス、或ハ第二十一條ノ如キ少シ高過ギルデヤナイカト云フヤウナ御感ジモアルカモ知レマセヌガ、是ハ刑法ノ建物ノ損壞毀棄其他ノ刑罰ト均衡ヲ取テアルノデアリマシテ、不相當デハナイト考ヘテ居ルノデアリマス

○竹越與三郎君 二十二條ハ讀メバ文字通り分リマススケレドモ、ドウ云フコトヲ豫想シテノ話デスカ、現状ヲ變更スルト云フコトハ、ドンナコトデアリマスカ

○説明員(荻野伸三郎君) 是ハ其國實ノ現狀ヲ變更シマスと云フコトハ、例ヘバ掛物ヲ今度額裝ニ致シマスとか、或ハ建築ノ方デ申シマスと、柿葺デアッタノ銅板デ張替ヘマスとか云フヤウナコトデアリマシテ、大體故意ニ之ヲ毀損スルト云フ程デハナクトモ、ソナヤウナ點ヲ考ヘタノデアリマス

○男爵藤村義朗君 精細ノコトニ付テ一寸伺ヒタイノデスカ、第二十條ノ「輸出又ハ移出シタル者ハ五年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス」之ヲ輸出シヤ

ウト思ヘバ隨分根津サンノ話ニナッタヤウニ拔道ガ今日デアアルノデス、何レ國實ト云ヘバ數方圓或ハ數十方圓ノ偉イ高イ貴重ナモノニ相違ナイ、之ヲ輸出シヤウト思フテ輸出シタラ、二千圓位ノ罰金ニ處セラレタ所デ何ノ役ニ立タヌ、二千圓ノ罰金ヲ全然見込デ輸出スルグラウト思フ、寧ロ此體刑ダケニシテ罰金ト云フコトハ取ッテシマフカ或ハ其輸出シタ國實ノ評價價格ヲ課スルト云フヤウナ位ノ餘程重イ罰金刑ニ處セヌト、實際ノ效能ガナカラウト思ヒマセウデセウカ

○政府委員(山崎達之輔君) 情狀ニ依リマシテハ無論體刑ヲ課セラル、コトニナリマセウト思ヒマスシ、體刑ノ最高限度ハ五箇年迄參リマスカラ相當ノ取締ガ出來得ルカト思ヒマス、是ト比較致シマシテ二千圓ノ罰金ト云フコトハ、成程偉イ簡單過ギルヤウナ威モ致シマスガ、又場合ニ依リマシテハ、情狀ニ依テ體刑ヲ課スルコトガ如何カト云フヤウナ場合モ無キニシモ非ズト考ヘマスノデ、左様ナ意味カラ罰金刑モ存置シテアル譯デアリマス、併シ其邊ハ又御意見ニ依リマシテ考慮致スコトニシマス

○男爵藤村義朗君 私人ハ數箇條ニ互ッテ少シ御尋ネシタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ

○委員長(侯爵細川護立君) 宜シウゴザイ

マス

○男爵藤村義朗君 國實保存法、此國實ト云フ文字デスカ、此法律ガ出來マスと云フト、先ヅ其以外ニ國實ト稱スルコトハ法律的ニハ出來ヌ譯ニナル、隨分世間デハ是ハ國實ダとか、何トカ言フテ居ル人ガアリマセウカ、或ハ中ニハ國實館ト云フモノヲ作りタイト云フヤウナ個人的ノ考ヲ有テ居ルヤウナ人モアルヤウデアリマス、斯ウ云フ文字ハ此法律ニ依ル以外ニ國實ト云フコトハ使ヘナイコトニナリマセウカ

○政府委員(山崎達之輔君) 公ノ意味ニ於テ國實ト云フノハ此法律ニ依ルモノニ限ラル、コトニナラウト思ヒマス、併ナガラ世間デ國實ト云フ名前ヲ使ッテハナラヌト云フ制限ニハナルマイト思ヒマス

○男爵藤村義朗君 個人ノ國實ハ賣買ヲ許スケレドモ、神社寺院ガ所有シテ居ル國實ハ賣買ヲ許サヌト云フ譯ハドウ云フ譯デアリマセウカ、以前ハ古社寺法ガアッタ時分ハ、古社寺ノ持ッテ居ルダケノ國實デアッタガ、今度ハ個人モ所有シ得ルト云フコトニナッタノデスカ、賣買ヲ許シテモ差支ナイヤウニ私ハ思フ、殊ニ隨分國實ヲ持ッテ居ル神社佛閣ナド經濟上ドウシテモ保存ガ出來ナイト云フ、年々政府カラ金ヲ貰ハナケレバ保存サヘ出來ヌト云フ所モアル、賣買ヲ許シテモ差支ナイヤウニ考ヘルガ、若シ絶

對ニ許スコトガ出來ナイト云フナラバ、或ハ神社佛閣ハ神社佛閣同志ノ御互ノ相互ノ間ナラバ許ス位ニスルト云フヤウナコトハ如何ナモノデアリマセウカ

○政府委員(山崎達之輔君) 其點ハ先般大谷サンカラモ御意見ガ御有リニナッタ點デアリマシテ、政府ニ於テモ色々協議ヲ實ハ凝ラシテ居タノデアリマス、此原案ノ神社及寺院ノ所有ノ國實ニ付テ賣買ヲ禁ジマシタ理由ハ、先般モ本委員會ニ於テ申上ダマシタ通りデアリマス、私人ニハ何故其制限ヲ設ケナカッタカト申シマスと、神社或ハ寺院ト云フヤウナ公ノ性質ヲ持ッテ居ルモノデアリマセヌデ、純然タル一個人ノ財產權デアリマスカラ、之ヲ豪ク立入ッテ制限スルト云フコトハ宜シクアルマイ、唯海外ニ之ヲ出スト云フ其一點ニ於テノ制限ヲ加フレバ宜シカラウト云フ意味デ、個人ニ付テハ、制限ノ範圍ガ非常ニ狭イノデアリマス、神社寺院ハ只今申上ダル通り特殊ノモノデアリマシテ、一種ノ公衆ノモノト云フヤウナ性質ヲ持ッテ居リマスルカラ、此方ニ付テ現在ノ古社寺法ニ於テモ賣買ヲ禁ジテアッタ譯デアリマス、之ヲ禁ジマスルコトハ、前回申上ダマス通りニ、成程經濟的ノ事情カラ申シマスと賣買ヲ絕對ニ禁止スルト云フコトモドウカト云フ懸念モ實ハ持ッテ居リマスルケレドモ、或ル官や或ハ或ル寺

ガ或ル特殊ノ國寶ニ該當スベキモノヲ持ッテ居ルト云フコトハ、其寺或ハ宮ニ取ッテハ餘程ノ由緒ノアルコトニ相違ハゴザイマセヌ、從ッテ其氏子或ハ寺院或ハ神社ニ對スル尊信ノ念ト云フモノト餘程結ビ附イテ居ルモノトモ考ヘネバナリマセヌカラ、其意味カラ實ハ寺トカ、宮トカデ實物トナルモノヲ賣却ヲスルト云フコトハ喜バシイコトデナイト云フ意味カラ禁ジテアル譯デアリマス、併ナガラ此點ハ若シ委員會ノ御多數ノ御意見ガ、特別ノ場合ニハ賣買ヲ認メネバナリマイト云フ御多數ノ御意見デアリマスレバ、政府ハソレニ對シマシテ強ヒテ反對ヲ致スト云フ考ハ有ッテ居リマセヌ、但シ其場合ニ無條件デ賣買ヲ許スト云フコトハ、是ハドウモ弊ガ非常ニ多カラウト思ヒマスカラ、文部大臣ノ許可ヲ受ケナケレバナラヌトカ、又文部大臣ガ許可ヲスル場合ニハ運動等ニ依ッテヤルコトノ危險ガアリマサルカラ、矢張り國寶保存會ノ議ヲ經ナケレバナラヌトカ言ッテヤウナ條件ガ附キマスレバ、政府トシテハ御多數ノ御意見ニ強ヒテ反對ヲ致スト云フ考ハ有ッテ居リマセヌ

又自分ノ所有權ヲ一寸取ラレタヤウナ考ガ起ルデアラウト思ヒマス、ノミナラズ此法律ニ依リマススト云フト、例ヘバ一年間帝室博物館ニ借リ上ゲル、ソレカラ其次ノ一年ハ官立ノ博物館、其次ハ又奈良デ借ル、何處デ借ルトカ云フヤウニ、博物館ニ毎年々々一年ヲ限ッテ出陳ヲ致スノ義務ヲ強ヒラレルト云フコトハ、隨分永イ間所有者ノ手カラ離レルト云フ風ニモマア解釋サレルノデセウガ、サウ云フ風ナ所ハドウ云フ風ナモノデセウカ

○政府委員(山崎達之輔君) 法律ノ解釋トシテハ藤村男爵ノ御解釋ノ通りデアラウト思ヒマス、但シ此規定ノ運用ニ付キマシテハ、決シテ無理ヲ強ヒルト云フヤウナ考ハ有ッテ居リマセヌノデアリマス、已ムヲ得ザル場合ニハ命令ニ依ルヤウナコトモ絕對ニナイトハ申上ダ兼ネマスケレドモ、大體ハ所有者トノ間ノ諒解ヲ以テ此規定ヲ運用スルト云フコトデナケレバナリマイト思フノデアリマス、ソレカラ若シ又命令ニ依ッテヤリマシテ、ソレガエライ不當ナ命令デアリマサル場合ニハ、是ハマア極端ノ場合デアリマサルカラ、訴願ノ途ヲモ開イテアル譯運用ヲスルト云ッテヤウナコトハマサカト考ヘテ居リマス

ヲ保存スルト云フコトガ精神、即チ保存ト云フコトガ極メテ大切ナ事項デアルト思フ、ソレニ付テ今日帝室博物館ニシタ所ガ、或ハ表慶館ノヤウナモノニシマシタ所ガ、他ノ官公立博物館等モ果シテ今日ノ、現存ノ設備ガ、或ハ設備ガ完全デアルヤ否ヤト云フコトニ付テハ、隨分世間デハ色々ナコトヲ云フテ居ル、鐵筋「コンクリート」ノ立派ナ建物デアアルケレドモ、非常ニ濕氣ヲ含ンデ、出陳ノ物ガ黴ガ生ヘル、或ハ硝子覆ヒニシタ所ガ、硝子ガ濕氣ヲ含ンデ黴ガ生エルト云フヤウナ、大分苦情ガアルヤウニ私ハ聞イテ居リマスガ、ソレラニ付テノ現状及ビ將來ニ於テ政府ノ御考ガドウ云フ御考デアアルデアラウカ、ソレカラモウ一ツ、此保存法ニ付テ、今度ハ國民ノ、個人ノ所有ノ國寶ト云フ物モ指定ニナル譯デスガ、個人ガ自分ノ有ッテ居ル國寶ノ保存ト云フコトニ付テ、ドレ程ノ政府ハソレニ對シテ監督或ハ干涉ヲ行ハレルノデアラウカ、隨分：一例ヲ舉ゲレバ、私ノ友人ノ知ッテ居ルナドハ、ソレコソ國寶トナルベキ物ヲ簞笥ノ中ヘ入レテ置イテ、其爲ニ震災デ燒イテシマッタト云フ例モアルサウデス、甚ダ惜シイコトデ、國寶保存ノ趣旨ニ適ハヌヤウニ思ハレル、此點ニ付テノ御考ハドウデアラウカ、一應伺ッテ置キタイト思ヒマス

○説明員(荻野仲三郎君) 博物館ノ出陳ニ付キマシテハ藤村男爵ノ御意見ノ通り、博物館ガマダ完全ヲ致シテ居リマセヌカラ、從前ノモノトハ存ジマセヌデスガ、併シ只今ノ博物館ノ當局者モ相當經驗ノ有ル人々デゴザイマスシ、又此取扱ニ付テモ十分ニ注意ヲ拂ッテハ居ルノデアリマス、ソレデアリマサルカラ繪畫ノ如キハナラダケ短期間陳列ヲ致シ、サウシテ始終取換ヲ致シマス梅雨ノ時ノヤウナ時分ニハ貴重ナ物ヲ避ケテ、ソレ程デナイ物ヲ陳列スルト云フヤウナ方法ヲ執ッテ居ラレルヤウニ拜見シテ居リマスル、ソレニ付キマシテハ將來此博物館ノ完成ト云フコトハ、ドウシテモ此國寶法案ノ通過ト共ニ考ヘナケレバナラヌコトト存ジテ居リマス、我國ニ完全ナ博物館ノナイト云フコトハ、文化ノ教育ノ上ニ於キマシテモ非常ナ缺點ナリト存ジテ居リマス、其點ハ男爵ノ御注意ハ御聽キマスノト共ニ、サウ云フ感ジヲ深ク致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、個人ノ所有ノ事ニ付キマシテハドウモ其手が及ビマセヌ、其點ハドウ致シマスカ、將來モ尙ホ考究ヲ要スル點ト考ヘマス、御承知ノ日本ハ殊ニ濕氣ト云フモノガ恐ロシイモノデアリマス、此點ハドウ云フ風ニシテ一體防止スルカト云フコトハ餘程考究ヲ要スル點ダト私ハ考ヘテ居リマス、丁度耐震耐火ト云フ事ト防濕ト云フコトガ設備ガ反對ノヤウナコトニナッテ

○男爵藤村義朗君 第七條ニ「一年ノ期間ヲ限リ」云々「國寶ヲ出陳スル義務アルモノトス」トアル譯デス、所ガ國寶ノ所有者トシテハ餘リ永イ間國寶ヲ餘所ニ出シテ置クト云フコトハ、非常ナ懸念デモアリ、

居リマス、鐵筋「コンクリート」ハ耐震耐火ニハ適シテ居リマスルケレドモ、防濕ノ點ニ於テハ尙ホ研究ノ餘地ガアル、其點ニ於テハ非常ニ私共モ懸念ヲ有テ居リマス、尙此上考慮モ致シ研究モ致シタイト思ッテ居リマス

○男爵藤村義朗君 私ノ希望トシテハ、個人ノ所有物デ國寶トシテ指定サレル以上ハ、保存會ナドニ相當ノ權限ヲ與ヘラレテ、出來ルダケ其善意ノ干涉、監督ヲ行ハレルコトガ宜カラウト思フ、隨分放シラカシテ置クト取返シノ附カヌヤウナコトニナリハセヌカト思フ、ソレカラ此十六條ノ此補給金、ハ補給金ノ額ハ政府ガ決定スルノデゴザイマス、保存會ガ決定スルノデゴザイマス

○政府委員(山崎達之輔君) 保存會ニ諮問ヲ致シマシテ文部大臣ガ決定スルコトニナッテ居リマス

○男爵藤村義朗君 此十九條ノ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲ス、此別段ノ定トハドウ云フ事デスカ、一寸御説明ヲ願ヒタイ

○説明員(小笠原豐光君) 國ノ所有ニ屬スル國寶ニ付キマシテハ、例ヘバ第三條、第四條等ヲ御覽ヲ願ヒマスル上「國寶ハ之ヲ輸出又ハ移出スルコトヲ得ズ但シ主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ」、「國寶ノ現狀ヲ變更セントスルトキハ主務

大臣ノ許可ヲ受クベシ」ト云フヤウナコトガゴザイマス、所デ國有ノ國寶ハ矢張り所管大臣ガ管理シテ居リマスルカラシテ、大藏大臣ノ管理ノ國寶ニ付キマシテ、或ハ現狀ヲ變更スルヤウナ必要ノアリマスル場合ニ、大藏大臣ガ文部大臣ノ許可ヲ受ケルト云フヤウナコトハ甚ダ面白クナイコトデゴザイマシテ、サウ云フ場合ニハ所管大臣ニ於テ主務大臣ニ協議スベシト、斯ウ云フヤウナ規定ヲ設ケタイト存ジテ居ルノデゴザイマス

○男爵藤村義朗君 國寶ノ輸出及ビ移出ハ禁ゼラレテ居ル、此移出ヲ禁ズルト云フコトハドウ云フ譯デスカ、是ハ朝鮮カラ此方ヘ持ッテ來テハナラヌ、此方カラモ出シテハナラヌト云フコトデアリマス、朝鮮カラ日本ノ國內ニ持ッテ來ルコトハ差支ナイ、是モ移出ダラウト思ヒマス、移出ヲ許サヌト云フノハドウ云フ譯デスカ

○説明員(小笠原豐光君) 朝鮮カラ此方ヘ持ッテ參リマスルコトハ別段此法ハ關係シテ居ラナイノデゴザイマス、此方カラ出スコトハ禁ジテアル譯デゴザイマス、此場合ノ移出スト云フノハ朝鮮、臺灣、樺太、斯様ニ考ヘテ居リマス、ト申シマスノハ輸出禁止ダケデゴザイマス、此輸出禁止ノ目的ヲ完全ニ達スルコトガ出來ナイ、ト申シマスルノハ御承知ノ通り此國寶保存法ガ施行

サレマシテモ施行區域ハ所謂現行施行區域ト同様デアリマシテ殖民地ニハ及ビマセヌ、サウシマスルト輸出禁止ダケデ置キマス朝鮮ニ持ッテ行ッテ朝鮮カラ輸出スルト云フコトノ防ギヤウガゴザイマセヌ、ソレデ輸出ト合セテ移出モ禁止シタヤウナ譯デゴザイマス

○男爵藤村義朗君 ソコニ何ガアルナラバ伺ヒタイノデスカ、今日迄政府ガ國寶ニ對シテ補給金ヲ補助セラレタ金額ノ總計ハドノ位ニナッテ居リマスルカ、御判リニナラナケレバ後デ宜シウゴザイマス

○説明員(小笠原豐光君) ソレデハ後デ...

○男爵藤村義朗君 此唯今戴イタ古社寺保存費ノ豫算ノ參考書ヲ拜見シマススト云フト、臨時部ノ三十四萬四千圓ト云フモノガゴザイマス、其ノ中二十五萬圓ハ保存費デ後ノ五萬四千圓バカリガ俸給費、タタ三十萬圓バカリノモノニ對シテ五萬圓ノ事務費ヲ要スルト云フコトハ餘リニドウモ官僚式デ、多クハナイカト云フヤウニ私ハ思フノデスカ、斯ウ云フコトハ餘程政府デ御注意ニナッテ下サラヌト云フト僅カニ三十萬圓バカリノモノニ、二十五萬圓ノ保存費ニ對シテ五萬圓ノ事務費、其保存費ニ對シテ二割以上モ俸給事務費ニ要スルト云ウノハ隨分法外ナ金ノ使イ方デヤナイカト思フ、別ニ

質問デハアリマセヌガドウゾ次官アタリデ能ク其邊ノコトヲ御注意ヲ願ッテ置キマス

○政府委員(山崎達之輔君) 其點ハ一應私カラ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、成程二十五萬圓ノ事業費ニ對スル五萬四千圓バカリノ事務費ト御覽ヲ願ヒマス、高過ギルノデアリマス、此事務費ノ中ニハ、實ハ從來保存會ノ經費ト云フモノガ今迄其豫算ガナカタノデアリマス、ソレデ保存會ノ委員ニ對スル謝禮ナドモ實ニ滑稽ナヤウナコトヲヤッテ居リマスヤウナコトデアリマシテ、今回保存會ノ組織ヲ擴張イタシマスルシ、又相當有力ナル機關ト致ス考デアリマス、此費用ナドモ實ハ臨時部ニ合セテ組ンダ譯デアリマス、此點ハ豫算委員會ニ於テモ議論ガアリマシテ經常部ニ組ムベキモノデヤナイカト云フ議論モアリマシタ、マア理窟ヲ申セバサウ云フヤウナコトニモナリマセウ、併シナガラ臨時事業ノ方ト經常事業ト合セタ事業デアリマス、カラ臨時部ニ組ムコトモ必ズシモ不當ト云フコトデモアリマセヌ、ソレト今一ツハ二十五萬圓ノ修理費ノ補助ヲスルコトニ付テノ事務費ノミデアリマセヌデ、マダ指定ニナッテ居リマセヌ建物其他ノ調査費、或ハ寫眞ヲ撮リマス、カ、圖ヲ引キマス、カ云フヤウナ、相當ノ事務費ヲ要シマス、左様ナモノヲ込ミニ致

シマシテ、五万四千二十五圓ト云フモノガ計上ニナッテ居リマスノデスカラ、御趣意ハ十分將來ニ於テモ注意イタシマスガ、大體ノ御諒解置キヲ茲ニ願フテ置キタイト思ヒマス

○男爵藤村義郎君 次官ノ御説明モ段々アリマシタガ、御尤モナ點モアリマスガ、併シ兎ニ角高イデスネ、驚クベキモノデス、

是ハ餘程御注意ヲ願ハナケレバナラス、尙ホ今回ノ國寶保存會官制ノ勅令案ハマダ拜見スル暇モナイノデアリマスガ、國寶保存會ト云フモノガ一番保存法ノ大事ナ根據デヤナイカト思フ、保存會ハ人間即其委員タルベキ人ニ依ル譯デアッテ、甚ダ名前ナドヲ申上ダルノハ誠ニ失禮デアリマスガ、例ヘバ此所ニ御出デニナル御方デ言ヘバ細川侯爵或ハ根津君ナドハ極メテ鑑識ニモ富ンデ居ラレルシ、又斯ウ云フ物ノ愛好者トシテ名高イ方デ、其外ニハ益田男爵トカ原君デアルトカ云フヤウナ御方ニハ、是ハ是非一ツ保存會ノ委員トシテ、出來ルダケ斯様ナ種類ノ方ニハ勿論、此所ニ御出席ノ荻野、關野御兩君ノ如キ方ハ是ハモウ絕對ニ必要デアリマス、其外ニモ世間ニ居ラレマス方デ随分鑑識ノアル方、又熱心ナ斯ウ云フ種類ノ物ノ愛好者モアリマス、此邊ノ方ニヲドウゾ御見逃シノナイヤウニ、成ルダケ役人ハモウ私ハイカヌト思フ、博物館長或ハ美

術學校長ト云フヤウナ人ニハ實際眼ガアルノダカ無イノダカ私ニハ分ラヌ、モウ其本當ノ適材ヲ取ツテソレヲ組織スルト云フ方針デドウゾ願ヒタイ

○政府委員(山崎達之輔君) 藤村男爵ノ御意見ハ誠ニ御尤モデゴザイマシテ、出來得ル限り御期待ニ副フコトヲ努メタイト考ヘマス

○竹越與三郎君 第七條ノ「一年ノ期間ヲ限リ」ト云フノハ、之ハ今藤村男爵カラモ御質問ガアリマシタガ、一箇年内、何箇月ト云フノデアレバ分ッテ居リマスケレドモ、一年内ト云フト一年ヲ出シテ、サウシテ又來年ト云フト、今御説明モアッタガ、チヨット何ダカ無制限ノヤウニ思ハレマスガ如何デス、三年ニ一度トカ云フヤウナ意味ナラ分ルケレドモ、一年内ト云フノデハドウモ...

○説明員(小笠原豐光君) 之ハ一回ノ出陳命令ガ一年ト云フトゴザイマシテ、一回ノ命令ニ付テ五箇月六箇月ト云フ場合モゴザイマス、ソレカラ又御話ノヤウニ之ヲ更新シテ續ケテ命令スルコトモ法ノ上デハ出來ルト存ジマスガ、先程政務次官カラモ申サレタヤウニ思ヒマスガ、實際ニ於キマシテ、斯カル命令ヲシテ居リマスノハ所有者ト文部省ト、ソレカラ博物館又ハ美術館ト三所ノ合意ノ下ニ今日實際行ッテ居ルノ

デアリマス、ソレデ所有者ガ承諾シナイ場合ニ無理押シニ續ケテ一回一年、モウ一回一年ト云フヤウナ命令ハ出サナイ取計ヒニナッテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○大谷尊由君 今ノ出陳命令デスガ、少シ實際ト違ッテ居ルヤウナノデス、一年デ之ヲ決メラレマス、藤村サンガ先刻言ハレタヤウニ今年モ一年、又來年モ一年、又場合ニ依リマシテ東京ニ持ッテ來、京都ニ持ッテ行キ、大阪ニ持ッテ行キ、奈良ニ持ッテ行ク

ト云フヤウナ場合ニ、同ジ品物ヲ彼方ヘ持ッテ行キ、此方ヘ持ッテ來ルト云フヤウニナルノデアリマス、又誠ニ言ヒ難イコトデスケレドモ、國文學ナドニ關係ヲ爲サル御方ハドウモ世間ガ狭クッテ一方ヘ見セテ此方ヘ出サヌトハ怪シカラヌト云フヤウナ御小言ヲ頂戴スル、決シテ承諾シナイ者ハ無理セヌト云フヤウナ御言葉ガアリマシタガ、ドウモ無理ガアッテ御小言ヲ頂戴スルヤウナ場合ガ屢、アルノデアリマス、出陳命令ノ期間ガ頗ル長過ギハシナイカト思フガ、如何ナモノデアリマセウカ、實ハ出陳者ノ方デハ随分迷惑ニ感ズル場合ガアルノデス

○説明員(荻野仲三郎君) 大谷サンノ御質問ノヤウナコトガ事實アッタカモ知レマセヌケレドモ、是非非常ニ少イト思ッテ居リマス、殊ニ今國文學者ノ御話ガアリマシタガ、私ノ方デハ一切サウ云フコトヲ申上ダタコトハナイト思フノデアリマスガ、ソレハ世間ノ學者ガ拜見シタイノデ、京都迄出ルヨリハ寧ろ旅費ヲ使ハナイデ東京デ拜見シタイト云フヤウナ關係カラソナコトヲ申上ダタノデハナイカト思フノデアリマスガ、私ノ方デハ社寺ノ所有ノモノニ致シマシテモ、所有者ノ十分ノ諒解ヲ得ナケレバ出陳命令ヲ出シマセヌノデ、事實ヲ申シマスト博物館ト社寺ノ方トガ合意ノ上デ申シ出テ參リマシタノヲ許可シテ居ルヤウナ譯デアリマス、近來ハ色々ノ展覽會等モゴザイマスノデ、頻リト出シテ貫ヒタイ、又世間ニ公表シテ貫ラヒタイト云フヤウナ申シ出モアリマスガ、運搬等ニ於テ差支ヘルヤウナモノハ一切許可シテ居リマセヌ、先達テノ京都ノ博覽會ノ出品ニ致シマシテモ、法隆寺カラ大キナモノヲ出シテ貫ラヒタイト云フヤウナコトヲ申シテ參リマシタガ、是ハ運搬ノ上ニ甚ダ危險デアルト云フコトノ爲ニ許可イタシマセヌデシタノデ、今度讀賣新聞デ計畫イタシテ居リマスル展覽會モ同様デアリマシテ、申シテ參リマシタ中デ餘程創除イタシマシテ最モ安全デアッテ、又公衆モ一度ハ見セナケレバナラスト云フヤウナモノニ限ッテ居リマス、今後モ其點ハ非常ニ注意ヲ致シタイト思ッテ居リマス、ソレデ陶品デアリマスとか、銅器デアリマ

ストカ言フヤウナモノデ割合ニ風化ノ關係ノ少イモノハ三箇月四箇月ト云フヤウナ陳列ハ致シテモ宜イカト思ヒマスガ、繪畫等ハ絶對ニサウ云フコトハ致サス積リデ居リマス、其點ハ運用ノ上デ十分注意ヲ致ス積リデ居リマス

○根津嘉一郎君 政府委員ニ御尋シマスガ、此第一條ノ「建造物、實物其ノ他ノ物件ニシテ特ニ歴史ノ證徴又ハ美術ノ模範ト爲ルベキモノ」之ニ加フルニマア文字ハドウデモ宜イノデスガ、文獻ノ典據トカ、或ハ學藝ノ典據トカ云フヤウナモノヲ此歴史ノ證徴ノ次ニ加ヘタイト思フノデアリマスガ、ソレハ例ヘバ近衛公爵家所藏ノ琴歌譜、前田公爵家所藏ノ古今和歌集清輔本、神田男爵家所藏ノ萬葉集、平瀨氏所藏ノ源氏物語、觀世家所藏ノ謡曲古本ノ如キ、十分是ハ國寶ノ範圍ニ這入ルベキモノダト思ヒマスガ、此原案デ見マスレバ是等ノモノハ國寶ニ這入ラナイデスガ、之ヲ入レルト致シマスニ付テハ何トカ文獻ノ典據トカ、學藝ノ典據トカ、適當ナ文字ヲ挿入イタシマシテ、是等モ總テ此國寶ノ範圍ニ入レタイト思フノデアリマスガ、當局ノ御意見ハ如何デゴザイマスカ

○説明員(萩野仲三郎君) 少シ此經過ニ付テ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、先日モ大谷サンカラモ御意見ガアッテ、實ハ之ヲ作

リマス場合ニ佐々木信綱氏カラ文獻ノ典據ト云フコトヲ入レタラドウダト云フ注意モ實ハアリマシタ、其節ニ私ハ委員デアリマス三上、内藤、黑板、瀧ト云フヤウナ諸氏ニモ相談イタシマシタ、然ルニ是等ノ人々ノ申シマスルノニハ從來是レデサウ云フ種類ノモノヲ一切網羅シテ居ッタノデアアルカラソレ等ノモノモ此中ニ這入ルデナイカ、若シサウ云フコトヲ入レルナラ尙ホ外ノ工藝品等ニモサウ云フ疑ガアッテコ、ニ國寶品ガ非常ニ多クナッテ、コレデハ網羅シ盡セナイト云フ疑ガ諸方ニ起ッテ來ルダラウ、ソレデ從來取扱上サウ云フモノヲ一切入レテ居ルナラ著書ト云フヤウナモノヲ從來廣義ニ解シテ居ルノデアアルカラソレヲ行ッタ方ガ安全デナイカ、斯ウ云フコトノ注意モアリマシタノデ此案ハ左様ニイタシタノデアリマス、ソレデ先日衆議院ノ委員會ニ參リマス時川崎委員カラノ御意見デ例ヘバ工藝品ノ中ニ……川崎委員ハ陶器ノ方ノ非常ナ造詣ノ深イ方デ、ソレデ色々陶器ノコトニ付テ御意見ガアッテ、例ヘバ仁清デアルトカ、光悅デアルトカ、乾山デアルトカ云フヤウナモノヲ一體ドウスルト云フ御説デアリマシタカラ、サウ云フ有名ナル人々ノ作品ハ代表的作物トシテ入レベキモノデアルト云フ御答ヲ致シマシタ、所ガソレナラバ窯ニ付テノ指定ヲドウスルカ、斯ウ云

フ質問デアリマシタ、例ヘバ伊賀焼ト云フノモアル、信樂焼ト云フノモアル、ソレハ一體何ニ入レルカト云フ御質問ガアリマシタ、ソレハ何方ニデモ解釋ガ出來マセウ、美術ノ模範トシテモ解釋ガ出來マスガ、又工藝史ノ一ノ證徴トシテモ出來マスノデソレデ其疑ハ此第一條デ洩レル虞ハナイト考ヘマスト云フコトヲ御答ヲシテ御同意ヲ得タヤウナ次第デ、今日實際指定致シマシテノ結果ト致シテ、ドウ云フ風ナモノガ這入ッテ居ルカト云フコトヲ一應申上ゲテ置キマスガ、此中ニ大變廣ク取りマシテ書跡、筆蹟、文書、書籍、金石、經文、經卷、江戸本ト筆蹟ト一緒ニナッタト云フヤウナ風ノモノ、繪圖、古文玩具ト云フヤウナモノマデ入レテ居リマス、ソレデ前田家ノ先日複製ヲ造ラレタ清輔本ノ古今和歌集ノ如キハ是ハ這入ルモノデ、是ハ古今集ノ歴史ノ上カラ申シマシテモ這入ルモノデゴザイマス、又筆蹟ノ上カラ申シマシテモ當然這入ルモノト心得テ居リマス、ア、云フモノハ既ニ指定致シテ居リマスシ、又將來モ續々ア、云フ結構ナモノハ指定ヲ致シタイ、斯ウ心得テ居リマスノデ唯今申上ゲマシタヤウニ文獻ノ典據ト云フコトヲ入レマス、今ノ工藝ノ方デ何カ漏レタモノハナイカト云フヤウナ懸念ガ生ジテ來テ、羅列主義ニナリマスト云フト餘程ムヅカシクナルノデ

ヤナイカ、斯ウ考ヘマスノデ、此ノ只今取扱ヒ來ッタ如クニ此歴史ノ證徴又ハ美術ノ模範ト云フコトヲ廣義ニ解シマシテ、サウシテサウ云フ物ヲ一切網羅シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、其邊ヲ一ツ御諒解ヲ願ヒタイト存ジマス

○根津嘉一郎君 能ク解リマシタガ、サウ致シマスルト殊ニ是ダケノ文字ヲ挿入イタノト云フ御話デアリマスカ

○説明員(萩野仲三郎君) 實際サウ云フ風ニ扱ッテ居リマスノデアリマス

○根津嘉一郎君 サウ致シマス、或ハ個人ノ所有ナドデ、見解ヲ異ニスルモノガアッタラドウ致シマス、ドウモソレハ法律ノ上デ、第一條ニ於テ、私ノ此物ハ美術ノ模範デヤナイトカ、或ハ歴史ノ證徴以外ノ物デアルトカ云フヤウナ議論ガ出マシタ時ニハ、ドウデゴザイマセウカ、多少ノコ、デ疑問ガ起リハシナイカト思ヒマス、其邊ハ如何デセウカ

○説明員(萩野仲三郎君) 是ハ矢張り委員會デ衆議ニ依ッテ決メマシタラ……ソレゾレ専門家ノ意見ヲ採リマシテサウシテ衆議決シタラ宜カラウト思ヒマス

○大谷尊由君 成程廣義ニ解釋シテノ御取扱ニハ今デモナッテ居ルノデゴザイマセウケレドモ、マダ此傳教大師ナドノ書イタモ

ノデ、ソレガ全部ガ歴史ノ證據ニナルカト云フト甚ダ疑ハシイノデス、ソレヨリモ寧口梵文學ト云フヤウナモノノ參考ニナルモノ、又弘法大師ノ書イタモノトカ、或ハソレ以後ノモノトシテ、梵文學ノ典據トナルベキ日本ノ宗壇ノ初メノ大切ナ書物が隨分マダ殘テ居ルト思ヒマス、是等ニ對シテハ全然政府ノ御調査ノ手ガ行届イテ居ナイト思フ、是等ハ一ニ歴史ノ證據トモ言ハレズ、寧口私ハ是等梵文學ナラ梵文學ナルモノノ代表典據ドラウト思フ、コレヲ無理ニコデ附ケテ文字ガドウデアルトカ、其人ガドウデアルトカ云フコトヲ以テ、品物本來ノ價値ヲ傷付ケルトカ、或ハ品物本來ノ目的ヲ現シテ居ラナイ場合ニハ、將來ノ學者デアルトカ研究者デアルトカ云フ者ガ、非常ナ……何ト言ヒマスカ注目シナイヤウナコトガアリ、或ハ氣ガ附カナイトカ、ソレニ對シ研究ヲ進メルコトガ散漫ニナルトカ、サウ言フヤウナ嫌ガナイトモ限ラヌト思フ、國ノ寶トシテ保存スル上カラ、矢張り一ツノサウシタ名目ヲ御舉ゲニナッタ方が、却ッテ其品物ノ値打ヲ出スコトデモアリ、大シテサウ差支ナイコトドラウト私ニハ思ハレルノデアリマス

○説明員(荻野仲三郎君) 是ハ唯今ノヤウナ……御話ノヤウナ懸念ガゴザイマスレバ、列舉主義デ入レテモ宜イト思ヒマス

レドモ、ソレデハ漏レルト云フコトノ虞レガ却ッテアリハシナイカ、只今大谷サンノ御話ニナリマシタ梵文學ニ關スルモノモ、殆ド指定シタイト思フテ居リマスノデ、私ハ實ハ少シ調査ヲ始メテハ居リマス、例ヘバ來迎寺ニアリマス貝多羅葉ノ如キモノモ、先年南條博士ニ讀ンデ貰ヒマシタ、サウシテ之ヲ指定シタイト考ヘテ居リマシタガ、何分ニモムヅカシクテ南條博士ニモ讀ミ難イト云フヤウナ譯デ、物ノ性質ガ分ラナイ爲ニ少シ遅レテ居リマスガ、マア是ハ總ユル梵文學ニ關スル資料ヲ集メテサウシテ指定イタシタイト考ヘテ居リマス、マアサウ云フヤウナ趣旨デ列舉主義ニナルト漏レル虞レガアリハシナイカ、寧口廣義ニ解釋シテ頂イテ、從來ノ取扱振テ御辛抱願ッタ方が安全デハナイカト私ハ寧口考ヘテ居リマス、其邊ハ非常ニ注意ヲ致シテ居リマス、此處ニ目錄ヲ持ッテ參リマシタガ、今日迄隨分廣イ範圍ニ於テ指定イタシテ居リマス、ダカラモウ種類ハ非常ニ廣クナッテ居リマス、終ヒニハ窮シテシマッテ繪、文、筆ト云フヤウナ名目ヲ附ケタリシテ居リマス、繪ト文章ト筆跡トガ一ツニナッタモノガ出テ來ルト云フヤウナ具合ニ、入明僧ノ策彦ニ關スル天龍寺ニアリマス文書ノ如キ、サウ云フモノガ出テ參リマシテチヨット斯ウ云フ風ニ列舉主義ニナリマス、困難ナコトニ出喰ハシハ

シナイカト寧口思フテ居リマス、御注意ノ點ハ十分ニ注意イタシマシテ總ユル種類ニ互ッテ指定スル、決シテ一方ニ偏スルト云フコトハ致サヌ積リデゴザイマス、近來ハ此事ガ非常ニ廣クナッテ參リマシタ……元ハ專門家ノ種類ハ大變少ウゴザイマシタガ、近來ハ其種類ガ廣汎ニ互ッテ參リマシタカラ、尙ホ御注意ノ梵文學ニ關スルコトモソレゾレノ專門家ニ御願シテサウシテ尙ホ私共モ協力シテ調査ヲ進メタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○竹越與三郎君 只今政府委員ハ、今取扱ッテ居ルト云フコトヲ荐リニ仰セラレルガ、成程只今ハソレデ宜シカラウト思ヒマスガ、人ハ始終百年ノ命ハナシ、ドウ變ッテ行クカ知レナイモノヲ、只今ノ取扱振ト云フヤウナコトダケデハ聊カ不安ヲ感ズルカラ、矢張り是ハ一ニ列舉ハ出來ナクテモ、モウ少シ廣ク列舉セラレタ方がドウドラウカト思ヒマス、ソレカラ又私ハ先キ或ル時代ヲモ決メタラ如何カト云フコトヲ申上ゲマシタガ、五十年前ノモノハドウ云フヤウナ御取扱、ト云フヤウナ是モ御取扱振デアッテ、ソレガハッキリシテ居ラヌデスナ、ソレダカラ第一條ヲ以テ「保存委員ガ決メタモノハ」ト斯ウ言フテシマヘバ是ハ極メテ明白且ツ廣イノデアリマスガ、サウデナク字義ヲ強ヒテ廣ク解釋スルト云フナラ何ダカ

マダ少シ物足りナイヤウニ思フノデスナ
○政府委員(山崎達之輔君) 御尤モナ御意見デハゴザイマスルガ、先刻荻野君カラ申上ゲマシタ取扱振リト云フヤウナコトモ、是モ只一人ノ役人ノ取扱トカ云フヤウナ意味合デアリマセヌデ、矢張り此保存會ノ一ツノ決議シタヤウニシマシテ、方針ヲ決定シテ行クコトデアリマスカラ、例ヘバ荻野君ガ誰カト御更リニナルト云フヤウナコトガアリマシテモデス、只個人ノ氣持トカ考トカ云フモノデハナイノデアリマスカラ、其邊ハドウゾ御安心ヲ願ッテ置キタイト思フノデアリマス、ソレト大體斯ウ云フモノノ範圍ト云フコトガ、法律ヲ以テ正確ニ明瞭ニ規定スルコト云フコトハ、餘程困難ナコトデアリマシテ、大體ハ矢張り此先程藤村男爵ノ御話ノ通りニ、國寶保存會ト云フモノニ十分ノ信賴ヲ置キ得ルヤウニ組織ヲシマシテ、此機關ノ働キニ俟ツト云フコトヨリドウモ仕方ガナイカト思フノデアリマス、デ決シテ原案ヲ固執スル意味デハアリマセヌガ、專門家ガ申シマスル通りニ限定列舉主義ハ却ッテ疑ヒヲ惹起ス間隙ヲ與ヘル虞レガアル、寧口運用ニ委シテ頂イタ方が安全デアラウト云フ是モ一理アルコトデアラウト思ヒマスルデ、ドウカ此點ハ一ツ其邊ノ所デ御諒解ヲ冀ッテ置キタイト希望イタス次第デアリマス

○高田早苗君 段々御説明ヲ承リマシタガ、此美術ノ模範歴史ノ證徴ト云フ所ヲ廣義ニ解釋シテモ、入リサヘスレバモウソレデ格別異論ハナイノデアリマススケレドモ、

隨分中ニハ、例ヘバ詩ガ大變美事ナ詩デアルト云々テモ、詩ヲ美術トシテ……美術ノ模範トカサウ云フ點別ニ特色ノアル譯デモ

ナシ、又ドウ考ヘテモ別ニ歴史ニハ殆ド關係ハナイ、只其モノガ極メテ古い、又學問上カラモ尊重スベキモノデアルト云フヤウ

ナ外ノ理由デ、歴史ノ證徴美術ノ模範ト云フ中ニ、ドウ廣ク解釋シテ見テモ入ラヌト云

フヤウナモノガ果シテ無イモノデアラウカ、何ダカアルヤウニ私共聞イテ居ルノデ

スケレドモ、無論素人ノコトダカラ、ハッキリシタコトハ申サレヌガ、實ハソレヲ廣義

ニ解釋シテ總テ入レサヘスレバ宜シイガ、ドウ廣ク解釋シテ見テモ其中ニ這入ラヌト

云フヤウナモノデ、而カモ稀有ナル物、大切ナル物、古い物ト云フ點カラ、貴重ナモノ

ト云フ譯デ國寶トシテ置ク方宜イト云フヤウナモノハ果シテアリマスマイカ

○説明員(萩野仲三郎君) 甚ダ何デスケレドモ、最前カラ伺ヒマシタヤウナ物ハ皆這

入ルヤウデアリマス、今仰セノヤウナ意味ノコトヲ人ニ相談イタシマシタガ、ソレ

ハ皆當然這入ル、今度モ御兩所ノ御注意モアリマシタノデ、又一寸相談ヲ遂ゲテ見タ

ガ、何レモ同様ニ申シテ居リマス、其御懸念ハドウモ無クテモ宜クハナイカト考ヘテ居リマス

○高田早苗君 歴史ノ證徴美術ノ模範ト云フノニ這入ルト云フコトデアリマスカ

○説明員(萩野仲三郎君) ソレハ這入ルモノト考ヘマス

○馬越恭平君 美術ノ模範ト云フ點デアリマスガ、例ヘバ國寶ノヤウナモノニ、茶人

ノ物デアッタ、茶杓ト云フヤウナ物ハドウナリマスカ、國寶ニナリマスカ

○説明員(萩野仲三郎君) 只今茲ニ申上デルコトハチヨット困難デアルト思ヒマスガ、

ソレ等ノ物ニ付テハ所謂専門家ノ意見ニ依ッテ決定シテ行カナケレバナラヌ、茶杓ヲ

國寶ニ指定シタコトハ從來ナイ、是ハ一體ドウ云フ風ニ解釋ヲシテ宜イモノデゴザイ

マセウカ、少シモ申上デル程ノ意見ヲ持ッテ居リマセヌ

○根津嘉一郎君 只今馬越サンノ御質問デアリマススケレドモ、是ハ獨リ茶杓バカリデ

ハナイ、茶器類ニ付キマシテハ中ニ大シタモノガアル、火箸デスネ、火箸デモ今日何

千圓何万圓トスルモノガアル、茶箒デモ何万圓ト云フノガアリマススケレドモ、是ハ美術ト云ヘバ美術ダガ、併シ其箱書ト云フモ

ノ……其書附ニ對シテ、利休ガ書イタトカ、其他有名ナ信長ガ書イタモノトカ云フ書附

ナドデ珍重セラレテ居ルモノモアリマスガ、是ハドウ御考ヘデアリマスカ

○説明員(萩野仲三郎君) 是ハ餘程ムジカシイ御質問デ、私モ御答スルニ甚ダ困難ヲ

致シマスガ、只今ノ火箸一本デモ國寶ニナルカト云フ御尋ニナリマスト云フト、チヨット

其返答ヲ申上デルノニ困難ヲ致シマス、茶道ノコトハ餘程是ニ關係スルモノハ考ヘナ

ケレバナラヌカト存ジマス、勿論茶碗ナドニハ名品モゴザイマス、是ハ國寶ニ指定ス

ベキモノガ多々アリマセウト存ジマスガ、只今馬越サンヤ根津サンノ御話ノ茶杓火箸

ニ至リマス、餘程考ヘネバナラヌモノト存ジマス、只今ノ箱書又ハ書附デアリマス

ガ、此方ハ又更ニ考慮ヲ要スルコトが出来マセウト思ヒマス、信長ノ書附ト云フモノ

等モ、貴重ナル歴史ノ證徴トシテ國寶ニ指定シテモ宜シイカ知レマセヌガ、ドウモ是

ハ利休ノ茶杓ダカラ國寶ニト云フコトニナリマス、餘程問題ニナリハシナイカト思

ヒマス、私共ハ少シ茶器ニ對スル價值ト云フコトニ付テハ、確カニ一ツノ公平ナル考

慮ヲ要スルト考ヘマス、茶杓一本ガ何千圓ト云ヘバ、サウ云フ價值ノアルベキ性質ノ

物デアアル、外ノ美術品ニ對シマシテ、サウ云フコトガドウ云フモノデアラウカト云フコトモ、相當一般ニ考フベキコトデヤナイカト、斯ウ思ッテ居リマス、ソレ等ノ點ニ

付テハ尙ホ考究サシテ戴キタイノデアリマス

○根津嘉一郎君 只今ノ御説ハ御尤モデ、書附モナイヤウナモノハ、如何ニ利休ノデ

モ値ハナイノデアリマススケレドモ、相當ノ價ノアル、何万圓トカ何千圓トカスル物ダト、

何レ箱書ガチャント附イテ居ル、正シイ箱書ガアルトカ、書附ガアルトカ言フモノデ

ナケレバ値ハナイノデアリマス、値ヒニナルベキモノハ、何千圓ト云フ値ノアルノハ

誰カチャント書附ヲシテ居ルノデ、其儘出シマスレバ茶器ナドハ……茶人デモ、是ハ

如何ナル茶人デアリマシテモ、裸デ出シマシテハ決シテ値ヒハナイノデス、ソレハ少

シハ値ガアッテモ、箱書カラ被覆カラ歴史カラ、其他茶人レノ質ガ良イト云フ總テノモ

ノガ完備シテ、始メテ値ガスルノデスガ、今ノ裸ナモノデハ、如何ニ茶杓ガ名作デモ

是ハ値ガスルト云フモノデハナイ、裸デモ良イ物ガアリマシテモ、茶器ノ方カラ見レ

バソレハ餘リ値ハナイノデアリマスガ、總テ完備シテ居ル物ハ、大分値ガ尊イノデアリマスカラ、ソレハ馬越サンノ御尋モン

コニアルノデアリマスカラ、其邊ヲ承ッテ置キタイト思フノデアリマス

○委員長(侯爵細川護立君) 文部省ニ今度内務省カラ移タト云フモノガアルノデスガ、ソレハ……

○政府委員(山崎達之輔君) 此古社寺保存ノ方ハ以前カラ文部省ノ方ニ這入ッテ居ルノ

デアリマス、宗教局ガ移管ニナリマスト同時ニ、今度文部省ニ這入リマシタノハ、史蹟名勝ノ方デアリマス

○竹越與三郎君

サツキ政府委員ガ大藏省デ管理シテ居ルモノヲ文部省デドウトカト

ニ云フ御話ガアリマシタガ、是ハ御考ヘデスカ、實際サウ云フ事實ガアルノデスカ

○説明員(萩野仲三郎君) 將來建物ハ、社寺有デナイ建物ヲ指定スル場合ニハ、國有ノ建物ト考ヘマス、ソレ等ハ只今大藏省ノ

方デ御主管ニナッテ居ルノデアリマスガ、サウ云フモノヲ若シ指定スル場合ガゴザイ

マス、大藏大臣ノ管理ニ屬シテ居リマス

○大谷尊由君 此國ノ所管ニナッテ居ルノ

ハ、官幣大社デモ矢張り内務大臣ノ監督デ

ハアリマセムカ、神社ダケハ別ニシテ、其

他ノ大藏省ノ所管ノモノダケ特別ノ法律ヲ

立テルノデスカ

○説明員(小笠原豐光君) 神社ハ神社ノ財

産ニナッテ居リマス

○大谷尊由君 神社デアレバ國家ノ神社デ

アリマスガ是ハ法人デハナイ政府ノヤッテ

居ル神社デス

○説明員(小笠原豐光君) 神社財産ニ關ス

ル法律ト云フモノガアリマシテ、ソレド

規定シテアリマス

○大谷尊由君 ソレハ内務省ノ所管ニナッテ居ルデセウカ

○説明員(小笠原豐光君) 神社ノ監督ハ内務省ガイタシマス

○大谷尊由君 神社法ト云フモノハ出來テ

居ナイカラ甚ダ疑ハシクナル

○説明員(小笠原豐光君) 神社財産ニ關ス

ル法律ハ出來テ居リマス、内務省ハ神社ノ

事務ニ關シテハ監督イタシテ居リマスガ、

財産ニ關シマシテハ國有ノ財産トシテ居ナ

イ

○竹越與三郎君 神社ハ誰ノデス

○説明員(小笠原豐光君) 建造物其他ハ神

社ノ財産デス

○大谷尊由君 神社ハ法人デハナイノデス

ガ……

○説明員(小笠原豐光君) 神社ハ法人ニナッ

テ居リマス

○説明員(萩野仲三郎君) 伊勢神宮ダケハ

特別デ、伊勢神宮ダケハ特別デ、伊勢神宮

ノ財産デアルト云フコトハ出來ナイ、國寶

ニスルコトハ伊勢神宮ノダケハ出來ナイガ、

他ノ神社ノハ國寶ニシテ居リマス、伊勢神

宮ノ物ハ國寶ニシテ居リマセム

○大谷尊由君 ソレデハ皇族財産ハドウナ

ルノデスカ

○説明員(小笠原豐光君) 皇族財産ノ御尋

ガゴザイマシタガ、合セテ御陵ニ付テモ申

上デマス、御承知ノ如ク法律ハ此皇室ニ及ビマセムデアリマス、御陵ニ付キマシテ

ハ全然國寶保存法ノ適用ハゴザイマセム、

ソレカラ皇族財産ニ付キマシテハ皇室財産

令第二十二條ノ規定ガゴザイマシテ、一部

ノ皇族ニハ此法ガ及ブカモ知レナイと思ハ

レルノデアリマス、ト云フノハ此公益ノ爲

ニ制限ヲ加フル法律ハ、或ル一部ノ皇族ニ

付テハ別段ノ定メナキ限リハ及ブト云フ規

定ガゴザイマス、是ガ皇室財産令第二十二

條デゴザイマスガ、ソレデ此國寶保存法ハ

公益ノ爲ニ或ル制限ヲ加フル法律ダトシマ

スト、今申シマシタヤウニ一部皇族ノ御所

有ノ財産ニハ及ブト思フノデゴザイマス

ガ、併シ方針ト致シマシテハ皇族財産ニ付

キマシテモ、御陵ト同様ノ國寶ノ指定ハ致

サナイ、斯ウ思ッテ居リマス

○大谷尊由君 李王職ハドウナルノデスカ、

隨分李王家ニアル品物デ國寶ニデモシテ國

家が保存シタ方宜イト思フヤウナ良イ物

ガアル、立派ナ物ガアル……、ネヨット是ハ

速記ヲ止メテ……

○委員長(侯爵細川護立君) 速記ヲ止メテ

〔速記中止〕

○委員長(侯爵細川護立君) ソレデハ速記

ヲ付ケテ……

○竹越與三郎君 是ハ未定稿ダガ、此官制

案ノ第三條委員ヲ何人置クトアッテ人数ハ

伏字ニナッテ居ル、實際ハ何人位ノ積リデスカ

○政府委員(山崎達之輔君) 大體ハ茲ニ原

稿ニアリマスヤウニ三十人位ノ積リニ致シ

テ居リマス、併ナガラ又人選ノ都合ニ依リ

マシテ其外ニ臨時委員ト云フモノヲ設ケタ

リ致シマスカラ、必シモ確定ノモノデハア

リマセム、大體ハ三十名位ノ積リニイタシ

テ居リマス

○委員長(侯爵細川護立君) 他ニ御質問ゴ

ザイマセムカ

○大谷尊由君 前ノ委員會ノ折ニ第十三條

ノ「神社又ハ寺院ノ所有ニ屬スル國寶ハ之ヲ

處分シ、擔保ニ供シ又ハ差押フルコトヲ得

ズ」是ハ確カナ御返事ヲ承ラナクッタノデア

リマスガ、一ツノ品物ガアルガ故ニ其寺ノ

若クハ神社ノ崇敬ヲ増スト云フ風ニ御考デ

アリマシテ、又サウ云フ品物モ隨分多イノ

デアリマス、ソレ以外ニ何等カソレガ信仰

ニ影響ヲ與ヘテ居ナイト云フヤウナ品物モ

隨分アルダラウト思フノデアリマス、又一

ツハ却ッテサウ云フ貧しい寺又ハ神社ガ持

テ居ル爲ニ現在傷ミツ、アル國寶モ實ハア

ルノデアリマス、是ハ神奈川縣デ矢張り眞

宗ノ寺院デアリマスガ、ソコニ親鸞上人ノ

繪卷ノヤウナ物ガアル、確カ國寶ニナッテ居

ルト思フ、所ガモウ寺ハ潰レ掛ケテ居ル、

モウ既ニ本堂ノ屋根ナドハ潰レテ仕舞ッテ

居ル、寺ノ維持ガ出来ヌモノデスカラ無暗
ニソレヲ以テ御開帳ヲスル、御開帳ヲシテ
蠟燭ヲ上ダタリ何カシテ直黒ニシテ仕舞
フ、國寶保存デナクシテ、其爲ニ國寶ガ毀
損サレツ、アルノデス、一度實ハ本願寺デ
買取ツテクレヌカト云フコトガアツケレド
モ、賣ルコトモ出来ナイシ、買フコトモ出
来ナイカラ、全然出来ナイト言テヤツタ、
實例トシテサウ云フモノガアル、其爲ニ國
寶ヲ毀損シツ、アル實例ガアル、是ハ惡意
デモナケレバ善意デモナイ、已ムヲ得ズ維
持ガ出来ヌカラ御開帳ヲスル、其御開帳ヲ
スル時ニハ御蠟燭ヲ上ゲル、サウスルト煤
ガ掛テ茶色ニナツテ来テ居ル、斯ウ云フ實
例モアリマスシ、ソレカラ又一番寺院トシ
テ大切ノ物ハ本尊ガ大切デ、其本尊ヲ入レ
テアル本堂ガ大切デアル、其繪畫デアルト
カ、花生ト云フヤウナモノニ對シテハ、ソ
レガ信仰ノ助ケニモ何ニモナラヌモノガア
リマスガ、是ハ特別ノ主務大臣ノ許可ヲ經
ルコトガ必要トナリ、嚴シイ制限ヲ加ヘラ
レルモノトナリ、絶對ニ賣却スルコトハ出
来ヌト云フヤウニ括ルト云フコトハ少シ無
理ノモノデナイカト思ハレルノデアリマ
スガ……

○政府委員(山崎達之輔君) 其點ハ皆様ノ
御多數ノ御意見ニ依リマシテ、第十三條ヲ
適當ニ御修正ノ必要ガアルト云フ御意見ニ

御決定ニナリマスレバ、政府ト致シテハ反
對ハ致シマセヌ

○委員長(侯爵細川護立君) 他ニ御質問ハ
ゴザイマセヌカ……御質問ナイト認メテ御
異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(侯爵細川護立君) 質問ハ終局ト
認メマス、ソレデハ是ヨリ此國寶保存法ニ
付キマシテ討論ヲ開始シタイト思ヒマス

○男爵藤村義朗君 私ハ全部ニ對シテ申シ
テ宜シウゴザイマスカ

○委員長(侯爵細川護立君) 私ハ全部ニ對
シテ宜シイト思ヒマス

○男爵藤村義朗君 本案ニ大體ニ於テ賛成
スルコトニ致シマス、唯私ト致シマシテハ、
實ニ此法律案ハ先ヅ個人所有ノ物件ニ關ス
ルモノ、即チ個人ノ財產所有權ト云フモノ
ニ對シテ制裁ヲ加ヘルト云フコトニナリマ
シテ、或ハ又先日來段々御質問ノヤウナ事
實のニ互々餘程ムヅカシイ問題モアルノ
デアリマス、極メテ關係スル所ガ複雑デア
リマスモノデアリマスカラ、慎重ニ考慮ヲ
スル必要ガアリハセヌカト思フノデ、實ハ
此議會ニ於テ案ノ趣旨ニハ、私ハ賛成デア
リマスガ、決議ヲシマセヌデ、來議會マデ
各方面カラ相當ノ人ヲ集メテ調査委員會ト
云フヤウナモノヲ作テ、尙ホ能ク研究調査
サシタ方ガ宜カラウト思ヒマスケレドモ、

併ナガラ大體ノ趣旨ニ、私トシテハ賛成シ
マス、且ツ又豫算關係モアリマスノデ、此
際賛成シタイト思フノデアリマス、但シ此
十三條ノ唯今御話ガアリマシタ點ニ付テ、
左ノ通りノ修正案ヲ提議シタイト思ヒマ
ス、第十三條、神社又ハ寺院ノ所有ニ屬ス
ル國寶ハ之ヲ處分シ、擔保ニ供シ又ハ差押
フルコトヲ得ズ、但シ主務大臣ノ許可ヲ受
ケ處分シ又ハ擔保ニ供スルハ此ノ限ニ在ラ
ズ、別項ニシテ「主務大臣前項ノ規定ニ依
ル許可ヲ爲サントスルトキハ國寶保存會ニ
諮問スベシ」、「主務大臣ノ許可ヲ受ケズシ
テ神社又ハ寺院ノ所有ニ屬スル國寶ヲ處分
シ又ハ擔保ニ供シタルトキハ之ヲ無効ト
ス」、斯ウ云フコトニ修正イタシマス、尙ホ
三四ノ希望ヲ、私ノ希望トシテ述ベテ置キ
タイコトガアリマス、ソレニ付キマシテハ
其理由ハ、既ニ先日來ノ質疑應答デ大體
皆サンモ御聞キ及ビノコトト存ジマスノデ、
此際詳シク申述ベマセヌケレドモ、斯ウ云
フ風ノ私ハ希望ヲ有テ居リマス、若シ皆サ
マノ御賛成ヲ得マスレバ、之ヲ本委員會ノ
希望決議トシテ本會議ニ委員長カラ御報告
下サイマスレバ、猶更本懷デアリマス、ソ
レハ斯ウ云フコトデアリマス、第一ハ「國
寶ノ嚴選精確ヲ期スル爲メ政府ハ國寶保存
會委員ノ選任ニ關シテ、其ノ詮衡ヲ慎重ニ
シ以テ眞ニ權威アル博識精通ノ士ヲ網羅セ

ラレンコトヲ望ム」、是ガ一ツ、第二ニハ
「國寶ノ海外流出ヲ嚴重ニ防止スル爲メ政
府ハ徹底的ニ遺憾ナキ方法ヲ規定セラレン
コトヲ望ム」、第三ニハ「國寶中優秀貴重ナ
ル建造物ノ現狀ニ顧ミ政府ハ速ニ其ノ修理
保存ヲ期スル爲メ之ニ必要ナル費額ヲ計上
シ繼續費トシテ次ノ帝國議會ニ提案セラレ
ンコトヲ望ム」、第四ニハ「國寶ノ完全ナル
保存ヲ期スル爲メ政府ハ國寶所有者ニ對シ
テ常ニ適切ナル監督ヲ怠ルコトナク又第七
條ノ場合ニ於ケル出陳箇所ノ設備及管理ニ
對シテ遺憾ナキ措置ヲ執ラレンコトヲ望
ム」、若シ是ガ希望決議トシテ御採用ガ出来
マスレバ、私ノ本懷トスル所デアリマス

○高田早苗君 賛成

○伯爵林博太郎君 賛成シマス

○根津嘉一郎君 私ハ至極藤村男爵ノ提議
ハ結構ノコト、思ヒマスカラ、全然賛成デ
アリマス

○委員長(侯爵細川護立君) ソレデハ十三
條ノ修正ニ付キマシテ、政府ノ御所見ヲ伺
ヒマス

○政府委員(山崎達之輔君) コナラデ御決
定ニナリマスレバ、サウ云フ風ニシテ政府
デハ異存ハアリマセヌ

○委員長(侯爵細川護立君) ソレカラ只今
藤村君ノ希望サレタコトハ、是ハ別ニ御發
議ハゴザイマセヌカ、

〔「ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵細川護立君) ソレデハ只今藤村君ノ十三條ノ修正意見ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵細川護立君) ソレデハ十三條以外ノ此法案全部ニ付キマシテ採決イタシタイト思ヒマス

○根津嘉一郎君 此十六條ニ「國庫ヨリ支出スベキ金額ハ毎年度十五萬圓以上二十萬圓以下」トゴザイマスガ、前回ノ質問ノ時ハ、是ハ二十萬圓……四十五萬圓許リノ御話ガアツカト思ヒマスガ、逆モ私共ノ希望ハ二十萬圓ヤ、四十萬圓デハ仕方ガナイト思ッテ居リマスガ、追、此金額ヲ増額シテ行キタイト思ヒマスガ、増額スル場合ニ於テ豫算デ若シ是ガ五十萬圓トナレバ、此十六條ノ改正ヲシナケレバナラヌコトト思ヒマスガ、是ハ其都度改正セズトモ宜イヤウナ方法ニシタラドウデゴザイマスガ、其邊ハ如何ナモノデアリマスカ

○政府委員(山崎達之輔君) 其點ハ第二項ノ方デ運用ガ出來マスノデ、法律ノ改正ハ必ズシモ……

○委員長(侯爵細川護立君) ソレデハ全部御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵細川護立君) 御異議ナイト

認メマス、更ニ藤村君ノ御希望ニ付テ御諮リ致シマスガ、是ハ本委員會ノ希望トシテ委員長ガ本會議ニ報告イタスコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵細川護立君) 御異議ナイト認メマス、ソレデハ之ニテ散會イタシマス午後二時五十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵細川 護立君
副委員長 高田 早苗君
委員

伯爵林 博太郎君
男爵藤村 義明君
竹越與三郎君
馬越 恭平君
根津嘉一郎君
北村宗四郎君
大谷 尊由君

政府委員

大藏政務次官 大口 喜六君
文部政務次官 山崎達之輔君

説明員

文部省囑託 萩野仲三郎君
文部省囑託 關野 貞君
文部事務官 小笠原豐光君